

# 泉地区幼保施設統合について

## 一般質問



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 平成 28 年 8 月末に第 1 回の協議会が行われ、先般答申もあったわけですが、この間、宇仁、日吉、泉の幼稚園、保育園を統合して幼児園化してきました。この数年の間に 8 園を 5 園に、それを 1 園にという案ですから大きな飛躍がある。行政の提案の一番の理由は。

**答** 低年齢児の保育ニーズが高くなっていることや多様な保育、最大の目的は、先生方の集約による質の向上です。できるだ

け大きな規模でやっていきたいということから、1 園への統合を事務局案として示しました。

**問** 加西市の場合、幼稚園構想の当時から、適正規模 100 人ということまで来ていた。現実に合わせて定数の変化はあると思うが、いずれの公立こども園の基本計画でもそういったことがうたわれている。泉で大規模化して、非常にいい施設になるんだというのは、この間進めてきた施設が十分機能していないという判断か。泉地区だけが特別なのか。

**答** 平成 13 年に、民営化も視野に置いて、経営規模を考えたときに 100 人という形が出てきた。その後、低年齢児の受け入れが非常に多くなってきている状況から 100 人では対応できないとい

うことです。泉地区の特殊性、小さいところがたくさんあるという中で、待機児童の解消、低年齢児の受け入れ、3 歳からの教育、今後の維持という先を見通した関係から判断しました。

**意見** 全市的な課題というが、旧加西町、北条町のどの小学校区でも民間の園も含めれば、就学前の施設はそれぞれにある。4 つのところまで 1 つにしてしまうというのがなぜ公平か。民間の園もないところに、規模の小さい民間で支えられないものを公的に運営するのは行政の責任だと思う。

### ■その他の質問項目

- ・ 共通番号制度の現状について
- ・ 国民健康保険について
- ・ 就学援助制度について

# 介護予防について

## 一般質問



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 75 歳を超えると要介護や認知症が急増すると言われていています。現在、市老連を中心とした多くの行事により、高齢者の健康増進を推進していただいています。ゲートボールやグラウンドゴルフ、ウォーキングなどは比較的元気な人が参加されています。しかし、運動が中心の活動では本当に元気な人しか参加できないのではないのでしょうか。今後もひとり暮らしの高齢者がふえると予測されています。一人で家にこもるこ

とは健康にも悪影響を及ぼし、要介護や認知症の発生を助長すると考えます。一部地域で実施されていますが、町なかでも増加している空き家を活用して、人が集えるサロンのような場所をつくり、高齢者の交流やふれあいを推進する必要があると考えます。見解をお聞かせください。

**答** 高齢者の介護予防の観点からは、体操や運動で体を動かすことも大事ですが、引きこもらずに外へ出てコミュニケーションの機会を持つことは、体の健康と認知症予防等の心身両面から大切になってくると考えます。現在 1 万 1,600 人余りの高齢者が 130 の老人クラブに会員登録されており、クラブごとに花見や旅行等の活動をされています。また、91 町で月 1 回程度、民生委員を中心

にいいきサロンを開催してレクリエーションや体操、食事など、地域コミュニティを深める活動を行っています。現在、地域の公会堂を中心として行っていますが、地域の空き家を活用することで参加しやすくなり、外出機会がふえる可能性があります。また、気心の知れた人が集まって互いに健康状態を気にするなど、地域の見守り活動にも寄与する効果が考えられます。今後、それぞれの地域において高齢者が歩いていける場所に、憩いの場のような拠点づくりを進めることで介護予防の推進を図っていきます。

### ■その他の質問項目

- ・ 健康長寿の取り組みについて
- ・ 観光振興について
- ・ 教師の労働環境について